

町議会 だより

Nagayo Town
Assembly
Newsletter

9月定例会

- ◎結婚相談で定住人口増加を図る… 2
- ◎三千隠線の切土工事 …………… 5
- ◎13人が問う一般質問 …………… 8~21
- ◎議会報告会のお知らせ …………… 26

平成27年10月21日発行
長崎県長与町議会

古典エイサー
楽しいよ

(ふれあい広場の祭典)



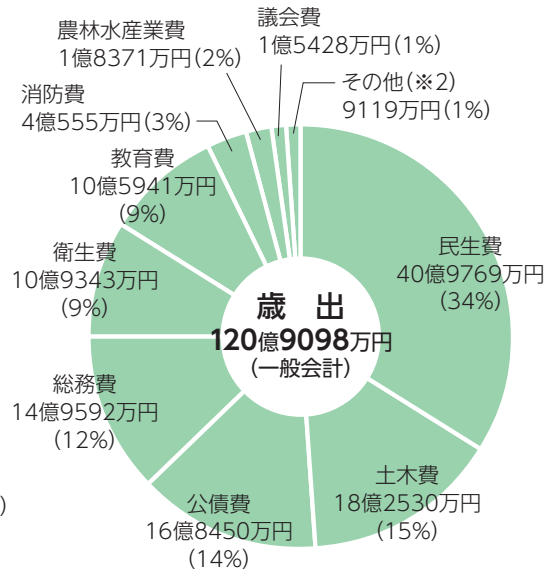
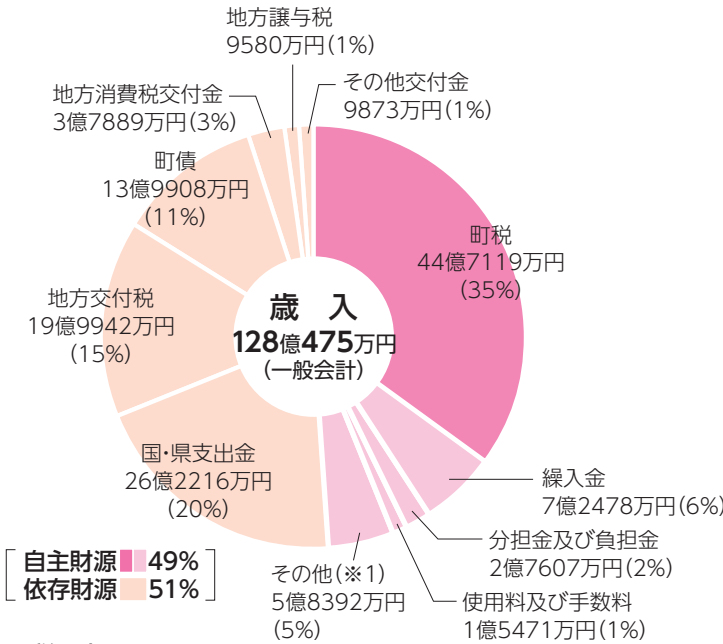
26年度 決算

結婚相談で定住人口増加を図る 町の家計簿をチェックしました

平成26年度一般会計決算 賛成12：反対2



27年第3回定例会を、9月1日から18日まで開き、26年度一般会計・特別会計各決算など全19議案を慎重に審議し全議案可決しました。また、請願1件を採択しました。



町税の内訳

(町民の皆さまが町に納めた税)

町民税	23億8410万円
固定資産税	14億8893万円
都市計画税	2億8764万円
町たばこ税	2億2884万円
軽自動車税	8153万円
入湯税	15万円

※1その他の内訳

財産収入	(1887万円)
寄附金	(55万円)
繰越金	(3億3620万円)
諸収入	(2億2830万円)

※2その他の内訳

商工費	(5108万円)
労働費	(3305万円)
災害復旧費	(695万円)
諸支出金	(11万円)

※金額は、1万円未満を端数処理しています。

総力戦で充実図れ
収入推進対策は現年度において、90%以上の
収納率であり最高の成果を上げている。公平
な納税の観点からも一層の努力をお願いす
る。今後、中長期的なビジョンを明確に示し、
総力をもって更なる充実を図って欲しい。
(金子)

行政効果を発揮
町税徴収は、滞納繰越額が減少し実績が上
がっていると評価する。また、「長与町結婚相
談事業」は1組の成婚が誕生し、定住人口増
加と地域活性化に資するため更なる成果
を期待する。予算は適正に執行され、行政効
果が発揮されている。
(安部)

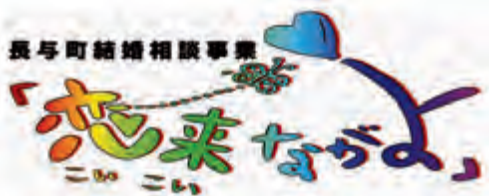
賛成討論

反対討論
維持管理型への転換 重要
高度成長期に建設された公共施設の老朽
化、少子高齢化対策など安全なまちづくり、
住民福祉の増進はこれからも課題となる。人
口増が見込めない中、投資型、開発型の事業
を抑制し、身の丈に合った維持管理型への転
換が重要と考える。
(堤)

9月議会ピックアップ

結婚についての相談
イベント開催で出会いの機会を提供

長与町結婚相談事業
100万円



テレビを利用し高齢者の簡易な
見守りと地域情報の提供

地域支え合い(I) CTモデル事業
407万円

百合野地区の100世帯を対象に
27年度まで実施

平成元年以降 最高の成果

収納推進対策事業
398万円

収納推進専門委員を雇用し、町税などの
滞納者への対応、指導に当たった。
現年度収納率は99.03%

大成功 長崎がんばらんば国体
がんばらんば大会

長崎国体長与町実行委員会補助金
1億1047万円



循環型社会を目指す

長与・時津環境施設組合負担金
3億3025万円



教育環境の充実図る

長与小学校屋外運動場整備事業
6115万円



生活に潤いと安らぎ

多目的広場 整備
長与シーサイドパーク整備事業
8175万円



自主活動発表を支援

文化ホール管理事業
4421万円

「歌う海賊団」ファミリーコンサート、
スーパーパントマイムシアター 平和
コンサート等の利用促進に努めた。

防災行政無線をデジタル化 多くの媒体に連動



今回の補正予算は、9014万7千円を追加し、総額118億6954万円になります。

子育て中のママの コミュニケーションツールに活用

コミュニケーションWEBサイト製作費
459万円

少子対策の一環として、妊娠、出産、子育てに結婚の項目を追加する。また、子育て中の保護者同士の新たなコミュニケーションツールとして活用する。

トレーニング器具 一式購入

長与町民体育館施設整備および
備品購入 1184万5千円

裏側にあるトレーニング室を、表側に移設するための工事とトレーニング器具一式を購入し、利用しやすい環境を整える。

さらなる結婚推進のための

サポーター育成

結婚推進等事業委託料

317万8千円

現在、結婚相談事業を長与町社会福祉協議会に委託しているが、さらに、結婚を推進するために18歳以上の未婚者および親を対象に講演会を開催。また、サポーター育成のための講座などを開催する。

迅速な情報伝達

防災行政無線デジタル化整備事業

アナログ式の防災無線をデジタル化することにより、従来の登録制メール配信やケーブルテレビ連携（字幕）に加え、ホームページやSNS、音声メール配信、エリアメール配信などの様々な手段で迅速に情報を伝達することが可能となる。

町道忠魂碑線 車両通行止め

災害復旧工事

2860万円

8月12日の大雨による災害で町道大平琴の尾線、町道南田川内・本川内線、町道忠魂碑線の3か所が被害を受け、復旧工事を行う。その中の忠魂碑線は当分の間、車両通行止めになる。



忠魂碑線 被災状況



マイナンバー制度 通知始まる

長与町個人情報保護条例
の一部を改正する条例

この制度は、国民一人ひとりに番号を付して、社会保障・税・災害対策の分野で情報を管理するものです。11月中旬以降に通知、来年1月から運用されるため、改正されました。

三千隠線の切土工事・道ノ尾駅前整備など進む

26年度土地区画整理事業特別会計 歳入7億3407万円 歳出7億2579万円

認定
賛成12:反対2

賛成討論

今後の造成は、山林が主体で進捗スピードも速くなる。また、保留地処分の促進に向け3次元映像ソフトを導入し、より効率的な処分方法を検討している。(西岡)

反対討論

完成年度が32年に変更し、事業費ベースでの進捗率も81%と下がった。この事業が町の財政に大きく影響を与えている。(河野)

問 測量設計委託料の不用額が高額だがなぜか。

答 保留地の民間開発の可能性など、検討するため3D画像の撮影を行った。思ったほど費用が掛からなかったため、不用額となった。

(主な質疑)

○26年度末 工事進捗率
(高田南土地区画整理事業)

道路整備	50・1%
宅地造成	54・4%
河川水路	100%
公園緑地	41・2%



もう少しで改良工事が終了予定の道ノ尾駅前



現地調査で進捗状況を確認



北陽台中央線と北陽台3号線



北陽台3号線と北陽台8号線

町道認定21路線

**全会一致
可決**

(西高田線・北陽台中央線・北陽台1号線～19号線)

問 (主な質疑) 西高田線については、都市計画道路として用地買収などの手続きが必要で、租税特別措置法適用を受けている中での町道認定は妥当か。

答 既に都市計画道路の認定を受けている。都市計画道路の用地買収で、使用収益は受けられるので問題ない。

今回の町道認定は21路線で、西高田線幅員17m道路・北陽台中央線幅員12m道路・北陽台線幅員9m・6m・5m道路の現地調査を行い慎重に審査を行いました。

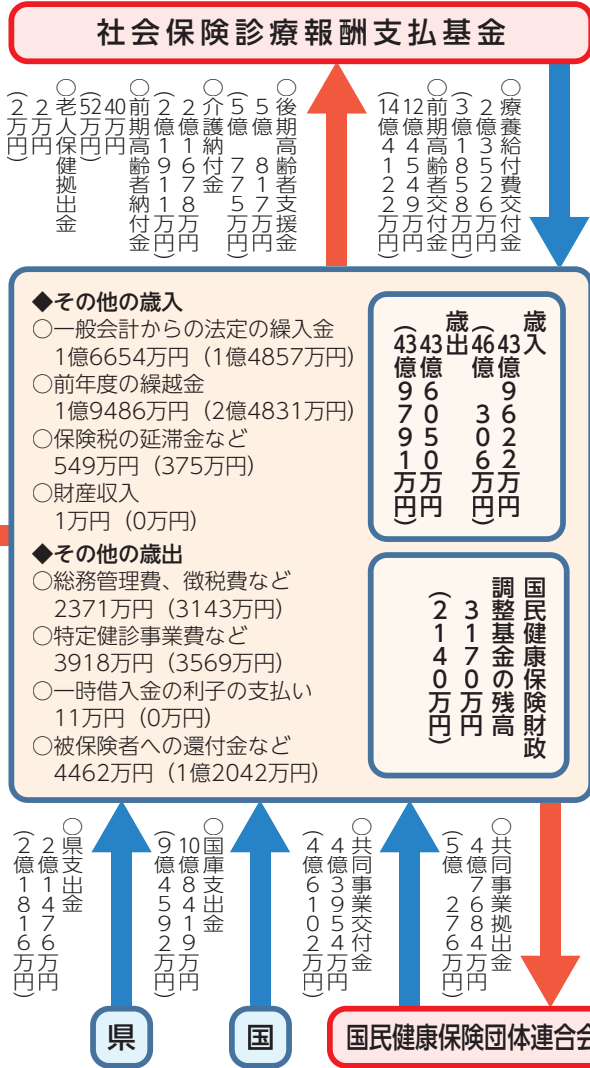
認定

特定保健指導での積極的支援を推進

26年度国民健康保険特別会計決算 賛成12・反対2

国民健康保険の被保険者

世帯数 5362世帯
被保険者数 9517人



○保険給付費 30億5066万円 (29億8020万円)

被保険者が医療機関を利用すると、7割分の医療費が保険給付費として国民健康保険団体連合会を通して医療機関に支払われます。

医療機関等

※()は25年度の決算額

県

国

国民健康保険団体連合会

反対討論

国保は社会保障制度である。ところがその役割を果たさず、逆に暮らしを厳しくしている。(河野)

賛成討論

若いうちからの健康づくりを促進し、生活習慣病の予防に取り組む施策を実施している。(西岡)
今後も国民健康保険事業運営の健全化に重点を置き、更なる収納率向上に努力され、安定した運営を願いたい。(饗庭)

用語解説

- 医療給付費交付金 退職者(勤務20年以上40歳以上で10年以上の勤務)の保険給付費の財源
- 前期高齢者交付金 65〜74歳の者の保険給付費の財源
- 後期高齢者支援金 74歳以下の者が納める後期高齢者医療への支援金
- 介護納付金 第2号被保険者が介護保険を支援する金
- 共同事業交付金 高額医療費に対する交付金
- 共同事業拠出金 県内市町の高額医療費の平準化を図るための拠出金

26年度介護保険特別会計決算

賛成12・反対2

歳入 26億6239万円
歳出 24億6999万円
被保険者数 9420人
被認定者数 1773人

介護保険料金が高く思うようなサービスが受けられない。(河野)

第6期介護保険事業計画のもと適正な介護給付に期待する。(饗庭)
支援事業が新たな展開に結び付くことに期待する。(分部)

26年度後期高齢者

医療特別会計決算

賛成12・反対2

歳入 4億1757万円
歳出 4億1682万円
被保険者数 4320人

高齢者の命と健康を守るためにも問題の制度である。(河野)

黒字決算であり、適切な予算執行がなされている。(浦川)

八反田公園前配水管・第2送水管 敷設替工事などに 2億4407万円

全会一致
認定

収益的収入	7億8955万円
収益的支出	6億6442万円
資本的収入	5480万円
資本的支出	3億9753万円
給水戸数	15,527戸
年間配水量	3,580,907m ³
一日平均配水量	9,811m ³



配水管敷設工事

主な質疑
問 委託料が昨年度と比べると増額しているがなぜか。
答 夜間の仮眠時間があったが、変更後は、交代で仮眠し各施設の水质検査や軽微な補修業務を行う契約の変更が行われた。

マンホール蓋改築・制御盤 更新工事などに 9673万円

全会一致
認定

収益的収入	11億2201万円
収益的支出	9億205万円
資本的収入	3854万円
資本的支出	3億4097万円
排水戸数	15,483戸
年間総処理水量	4,499,648m ³
一日平均処理水量	12,328m ³



下水道改良工事

主な質疑
問 使用料は原価割れしている。値上げは検討しているのか。
答 今回の料金体制で行きたい。不明水の問題を解決し、有水率を上げて行きたい。

用語
解説

☆収益的収支・・・主に維持管理の関係

収入＝使用料、負担金

支出＝維持管理費、人件費

☆資本的収支・・・主に設備投資の関係

収入＝補助金、借入金

支出＝事業費、償還金

○手数料徴収条例の一部を
改正する条例
住民基本台帳カード交付手数料を個人番号カード再交付手数料に改め、通知カード再交付手数料を追加する。

全会一致
可決

その他の議案

○介護サービス事業勘定
(介護サービス事業勘定)
歳入歳出それぞれ1042万6千円の追加補正

○保険事業勘定
(保険事業勘定)
歳入歳出それぞれ1億7141万7千円の追加補正

○介護保険特別会計
補正予算(第1号)

・後期高齢者医療広域連合納付金

・歳入歳出それぞれ74万7千円の追加補正

○後期高齢者医療特別会計
補正予算(第1号)

・訪問看護指導による生活改善謝礼
・過大交付による退職者医療償還金

・歳入歳出それぞれ428万7千円の追加補正

○国民健康保険事業特別会計
補正予算(第1号)

全会一致
可決

27年度補正予算

13人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。

制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。

原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。

掲載ページ

9	岩永 政則 議員	① 長与町基本構想（10カ年）並びに基本計画（5カ年）の改定について
10	吉岡 清彦 議員	① 幸福度日本一に向けての政策について ② 資源化物の拠点回収について ③ 条例制定によって、空き家・空地対策を図れ について
11	分部 和弘 議員	① 明るい明日への町づくりについて
12	喜々津英世 議員	① スポーツ施設等の整備について ② スポーツイベントの導入について
13	金子 恵 議員	① まちづくりにおける図書館のあり方について ② 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について
14	浦川 圭一 議員	① 都市計画道路西高田線の今後の都市計画について ② 長与川の土砂堆積について
15	饗庭 敦子 議員	① 防災について ② 介護保険事業について
16	西岡 克之 議員	① 教育問題について ② 福祉政策について
17	安部 都 議員	① 地域支え合いICT（高齢者見守り事業）の今後の取り組みについて ② 障害者、高齢者福祉サービスについて
18	山口憲一郎 議員	① 公共施設の老朽化対策について ② 農業政策の充実について
19	堤 理志 議員	① 町道、県道の安全対策について ② こども医療費助成の対象年齢拡充について
20	中村 美穂 議員	① 高齢者の買い物対策について ② 粗大ゴミの希望者への有料回収について ③ 災害時優先電話の設置について
21	河野 龍二 議員	① 国民健康保険税の引き下げについて ② 町道の改善について ③ 乗り合いタクシーの導入について



いわな なが まさのり
岩永 政則 議員

基本構想の見直しを図れ

回答 見直すようにしていたが行わない

議員

24年12月と26年3月定例議会において長与町基本構想（10カ年計画）について質問した。基本構想は、まちづくりの指針であり、最上位計画である。町長選挙で町民に約束した基本的な政策は、最上位計画である基本構想に位置づけるべきである。このような視点から現在の基本構想の見直しを行うよう質問した。それに対して「見直しを図っていきたい」との答弁であった。そこで、見直しについての今日までの進捗状況はどうか。

町長

24年および26年において、たしかに指摘の通り答弁していた。具体的には、①コンパクトシティ構想を策定すること。②コンパクトシティ構想の策定のめどが立ち次第、スケジュールを示す。③コンパクトシティ構想策定後に見直しについて議会に諮る。④町民への公表はパブリックコメントなどを経て行うとの答弁であった。そこで見直しを行うに当たっての踏まえるべき

観点を整理し、検討した。それは以下の通り。①現在の8次総合計画は、ワークショップ、パブリックコメントなどを経て策定された非常に重いもの。②26年度には町民意識調査の実施など、第9次計画に着手すること。③一般的に首長の交代による改訂は行われていないこと。である。慎重に検討した結果、時間的制約もあり、5カ年計画の基本計画に位置付けることとした。要するに基本構想の見直しは行わない。

議員

見直しのスケジュールに対し「具体的スケジュールを示していきたい」との答弁であったが、どのようになっているのか。

町長

答弁通りのスケジュールとなっていないことについて、申し訳ないと思っている。

構想の策定は

議員

「今後のまちづくりの策定を体系化したコンパクトシティ



さらなる飛躍のための計画を

構想を策定する」とことと答弁していたが、このコンパクトシティ構想はいつ策定したのか。

町長

総合開発審議会からの答申を踏まえ、コンパクトシティ構想を策定することとしていた。答申の内容が非常に具体

的であり、その領域が幅広い分野および総合計画との整合を図る必要があることから、単体での策定ではなく、第9次の計画の中で表現した方が良いのではないかと考えから、計画書としての策定に至っていない。



よしか 吉岡 清彦 議員

4年を振り返って満足度は

回答 住民の幸福度が向上している

議員

幸福度日本一の政策で住民の幸福度が上がったものは何か。

町長

「まちづくり町民意識調査」から見ると、「母子保健」「学校教育」「健康づくり」などが満足度が高い順となっている。

議員

進行中の政策は何か。また、進捗率はどうか。

町長

図書館機能をはじめ情報発信・受信機能を備えた、多機能施設としての長与町新図書館の建設に向けて取り組んでいる。また、本町にあった規模で、賑わいのある中心市街地計画を考えていく。

議員

選挙公約の中でまだ取り組んでいないものは何か。

町長

5つの提言を掲げて「幸福度日本一」を目指してきた。「コンパクトシティ」については、賑わいのある中心市街地計画など研究している。「こどもを育てる環境づくり」では、延長保育、保育料の減額など

取り組んだ。「安心して暮らせるまちづくり」ではICT

モデル事業に取り組んだ。「地場産業の育成と活性化」については、中央商店街一帯と榎の鼻土地区画整理事業における商業施設との共存共栄を目指し、動線確保のため、役場前に橋梁の整備を進めている。「大村湾ネットワーク」については国道207号線の整備に取り組む。

議員

約4年間を振り返って満足度はどれくらいか。

町長

町民意識調査によると87%が「住みやすい」との回答であり、そのように捉えてよい。

問 資源化物回収中の賠償責任は

答 車両による事故は個人負担となる

議員

資源化物の月1回の回収では、業者が自宅まで回収に来てくれるので助かるが、自治会の当番がきついという住民がいるがどう対応しているのか。



助かってます自宅回収

町長

自治会や住民の協働で実施していく。

議員

役員などの負担が多大であり、自治会が成り立たなくなる可能性があるがどう対応していくのか。

町長

自治会に合った取り組みを検討してもらいたい。

車両事故個人負担

議員

回収時の事故はどうなるのか。

町長

車両による事故は個人が賠償責任を負う。

議員

拠点回収が最高の制度と思うのか。

町長

より取り組みやすいよう検討する。

問 条例を制定して空き家対策を

答 特別措置法を基に強く対応する

議員

空き家対策特別措置法が制定されたが、本町においても諸問題の解決に向け、条例の制定を図るべきと思うがどうか。

町長

今後検討していく。

強制的に対応する

議員

現時点で困っている住民がいる。どう対応するか。

町長

特別法に基づき強制的に対応できるので、対処していく。



空き家対策を早急に



わけべ 和弘 議員
かすひろ

どうする 明るい明日への町づくり

回答 3つの戦略プロジェクトを想定

議員

明るい明日への町づくりについて、現時点での第8次総合計画の総括はどのようなになっているのか。また、第9次総合計画の基本的な考え方、具体的な検討事項はどうか。

町長

現計画の進捗状況や成果を把握するため、昨年度において、施策評価および町民意識調査を実施。第9次総合計画の策定にあたっては、「幸福度日本一」の実現に向けた施策を基本として、本町の強みを活かし、成熟したまちとして付加価値を高めることを目指し、3つの戦略プロジェクトを想定している。

総合戦略の策定

議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略については、町の将来の方向を提示する姿が見えてこない。重要な施策であり既にスタートしている総合戦略の策定はどのようなになっているのか。

町長

「長与町まち・ひと・しごと創生推進会議」を組織し、これまで2回の会合を持ち、基本的な認識の共有を図り本町での効果的な取り組みについての議論を進めている。「本町での子育てを望む声が多い」現状を踏まえ、移り住んでもらうための呼び水となるような事業について、提案なども受けている。10月中の策定を目指し、戦略に織り込む具体的な事業の検討作業を行っている。

議員

情報インフラの整備や新図書館、公共施設の適正配置、通勤時の渋滞緩和など町の重要な課題について、25年11月に答申された「コンパクトシティ構想」はどのように進められているのか。

町長

榎の鼻土地画整理事業による新市街地と中央商店街との動線を確保するため、都市計画道路路西高田線および役場前橋梁の整備、長与駅のバリアフリー化、図書館整備計画の



明るい 長与の 町づくり

各計画の整合化

議員

策定、コミュニティバスの検討、ICTモデル事業を進めてきた。今後は、コンパクトシティ構想を総合計画における重要プロジェクトとして位置づけ、コミュニティバスや乗合いタクシーの導入など各種事業に着手していく。

町長

今後の本町の町づくりの基盤をなす重要な計画であるので、これらは互いに密接不可分であることは言うまでもない。特に「コンパクトで元気なまちづくり」は、まさにコンパクトシティ構想を具現化するためのプロジェクトと位置づけ、第9次総合計画の根幹をなすものと考えている。



ききつひでよ
喜々津英世 議員

トレーニングルーム移設と更新を

回答 国道側に移設し機器も更新する

議員

町民体育館のトレーニングルームは、利用者も増加しているが、山林に隣接し暗い。国道側に移設するなど、環境改善を図り、機器も更新すべきではないか。

教育長

トレーニングルームは、体育館の開設と同時に設置し、22年目を迎えている。「まち・ひと・しごと創生法」に基づく支援交付金を利用して、国道側への移設と機器の更新を進めていきたい。

議員

ウォーキングマシンやバイクが設置されているが、これらの機器は利用度が高いことから、この際、増設すべきではないか。

スポーツ振興課長

ランニングマシンなど、増設する方向で計画を進めた。

バスケットゴール更新

議員

町民体育館に、小学生用のバスケットゴール設置を要望し

ていたが、一般用のゴールポストも老朽化していることから、この際、更新すべきではないか。

教育長

体育館の設備は、点検・整備を実施している。バスケットゴールも老朽化しているもので、上下移動式のものに更新する方向で検討を進めている。

議員

予算も伴うが、27年度内の更新はできないのか。

スポーツ振興課長

27年度内更新の答弁は控えた。

議員

シーサイドパークの利用状況はどうか。

教育長

4月に開設し、7月までの利用者数は1366人である。フットサルでの利用が最も多い。

議員

フットサル場には水道設備がない。利用者から要望があっているが、設置する考えはないか。



シーサイドマルシェを活かして活性化を図れ

スポーツ振興課長

直接要望は聞いていないが、配管を調査し、設置を検討したい。

議員

年1回開催のシーサイドマルシェは大変な賑わいである。これを複数回開催するなど、シーサイドパークを活用した地域活性化を図るべきではないか。

町長

シーサイドパークの整備は良かったと思う。川まつりなど周辺を生かしたイベントも開催している。一帯を町の顔にしていきたい。

問 スポーツイベントで地域活性化を

答 ハーフマラソン大会開催を検討中

議員

県内外の自治体では、マラソン大会などを開催し、町おこしや地域の活性化につなげている。町でも導入する考えはないか。

教育長

長与シーサイドストリートを利用して、ハーフマラソンを開催し、地域活性化につなげたい。実施の方向で検討している。

駅伝コース誘致を

議員

郡市対抗県下一周駅伝大会で、本町を走るコースを誘致すべきではないか。

教育長

過去にも要望したが実現には至っていない。今後とも要請を続けていきたい。

どうなっている図書館建設補助金



かね 恵 議員
めぐみ 恵 議員

回答 計画策定に向け内部で検討中

議員
雑誌スポンサー制度の進捗状況はどうか。

町長
募集要領や各種申請書および広告の仕様書などの整備が完了する。10月をめどにホームページ掲載、企業への直接訪問により制度内容を説明する。広報11月号で周知を図り、企業の確保に努めていきたい。

議員
27年3月に「長与町図書館基本構想」が策定された。その後の進捗状況はどうか。

町長
一般財源に負担をかけないような建設計画・財源計画を策定していく必要がある。その一歩として、図書館建設用地の今年度中の購入に向け、協議・検討を行っている。

議員
建設に向けての補助金はどうなっているのか。

副町長
図書館問題以外にも波及していくため、計画策定に向け内部での検討を行っている。

議員
土地は国庫補助金の対象になるのか。

副町長
用地を含め、補助対象になるような財源を前提として考えている。

優先順位は

議員
懸念材料があるということでは優先順位が変わったのか。

町長
道ノ尾公園の整備など、見えづらい部分が多い。しかし、建設に向け努力はしていく。

問 今後の医療費削減対策を示せ

答 データヘルス計画に基づき行う

議員
ジェネリック医薬品を利用したことによる普及率、削減金額はいくらか。

健康保険課長
普及率は59・3%。106万7000円の削減である。

議員
お願いカードやリーフレット

以外での周知はどのようにしているのか。

課長
被保険者には自己負担が安くなるという説明をしている。医療機関、調剤薬局には本町の医療費の現状を説明し、進めてもらっている。

議員
品質の理解や認知はどのようにしているのか。

課長
薬剤の効能効果に関して紹介しているホームページなどをPRしていく。

議員
今後の医療費削減対策の課題は何か。

課長
「データヘルス計画」を策定し、それに基づき効果的な保険事業を行っていく。

議員
レセプトに記載された膨大なデータをコンピュータで解析するという取り組みになるのか。

課長
国保のデータベースシステムを使い、特定健診の結果、レセプトの情報を見ることで分析している。本町の現状は、狭心症、心筋梗塞など心疾患にかかる医療費が多いという問題点も見えてきた。また、重症化の予防事業、若年層の検診受診、がん検診を受けることにより、早期治療にも役立つと考えている。

ジェネリック医薬品希望シール

ジェネリック医薬品を希望します。

医師・薬剤師の皆様へ
ジェネリック医薬品を希望します。

ジェネリック医薬品を希望します。

長与町国民健康保険

このシールを健康保険証やお薬手帳などの余白部分に貼ってお使いください。(詳細裏面)
ジェネリック医薬品を希望される方は、医師又は薬剤師にご相談ください。

ジェネリックで医療費削減を！

いつになる 西高田線都市計画変更



うらかわ けいいち
浦川 圭一 議員

回答 28年度中に変更予定

議員

計画の変更案が確定する前に、本道路の計画幅員について、現状17㍎の幅員が適正であるのか、検証も含めて再考願いたい。変更時期はいつ頃を予定しているか。

町長

28年度中に変更できるような作業を進めている。

議員

既存町道部分、パチンコ店前付近から、西高田踏切までの計画予定幅員はどのくらいか。

町長

現計画は幅員17㍎で、接道を行う県道長崎多良見線の16㍎より広い幅員となっているが、17㍎より狭くしたいと思っている。

議員

17㍎より狭くしたいと思った経緯は何か。

都市整備課長

歩道部分の計画4㍎に疑問を感じて、車道部分はそのままで歩道を狭めるということで、事業費の圧縮も検討している。

議員

県道から分岐する道路のうち、高田越中央線、南陽台北口幹線道路、第二中登り口町道は、歩道幅員1.5㍎から2.5㍎。西高田線においては4㍎の歩道が必要かと感じている。既存の歩道について、通学時の通行の苦情とか要望などは何かあっているか。

建設部長

特にない。

教育次長

特に聞いていない。

問

影響はないのか
長与川の土砂堆積

答

景観上よくないと
感じている

議員

長与川の状態は、土砂などが多く堆積している状況であると思う。この現状をどのように感じているか。

町長

雑草が生え、景観上よくないと感じている。

議員

土砂などの堆積が進行していることで、防災上の影響、上



西高田踏切付近現況

水道にかかる影響、干ばつ時の影響など悪影響を及ぼすことはないか。

町長

上水道にかかる影響は現在の堆積状況では、直接的な取水への影響はない。

議員

浄水場上流付近では、一部堆積土砂が水面より高く雑草が茂っている現状である。このような状況が広まることで貯水量にも影響し、関連して取水にも影響があると思うがどうか。

水道課長

堆積物が増えてくると取水に

も影響はあると考える。また、水源確保のためにも浚渫^{しゅんせつ}などの対応が必要と考える。

議員

防災上の影響と干ばつ時の影響についてはどうか。

管理課長

長崎県の河川課に確認したところ、現在の堆積物の量では、河川断面は確保されている。防災上支障ないとの見解である。

議員

河口部分と合わせた浚渫の要望については、実行性が伴う要請、要望に努めていくべきかどうか。

建設部長

そのような要望をしていく。



皆前橋下流付近の堆積状況

※浚渫^{しゅんせつ}
水底をさらって土砂などを取り除くこと。

総合防災訓練を実施せよ



あいば 響庭 あつこ 敦子 議員

回答 近い将来 検討する

議員

各地で甚大な河川被害が増えている。気象情報や情報伝達手段は格段に進歩しているが一人ひとりが防災、減災への意識を持ち日ごろから備えることが大切である。風・水・土砂災害危険箇所の周知はできていくか。

町長

土砂災害ハザードマップを作成し広報誌、ホームページなどで周知している。今後、分りやすく追加修正し、来年全戸配布予定である。

議員

命を守る、防災意識を向上する町全体での総合防災訓練は行っているか。

総務課長

行っていないが近い将来できるように検討する。

議員

防災の日に「子供たちの命をどう守るか」という観点から防災訓練を行う必要があるのではないか。

教育委員会理事

防災の日は始業式であり、他の機会に避難訓練を行っている。

議員

自主防災組織への町の関わりはどうなっているか。

総務課長

現在関わっていないが、今後は参加し、問題点、改善点を確認していく。

迅速な情報伝達

議員

迅速な情報伝達手段としてSNSの導入の考えはないか。

町長

今後、防災情報のSNS発信の導入を検討していく。

議員

いづころ導入するか。

総務課長

積極的に取り組みたいが時期は、未定。

議員

防災の情報伝達のためにもタブレット配布と町長の公約にあったが、それはどうなったか。

企画課長

事業費、アプリケーションの更新、通信費の問題があり取り組んでいない。代わるものとしてICT事業に取り組ん

でいる。

議員

8月12日の大雨警報が出されたときのICT事業の効果やタイムリーに分析し、公開すべきと思うがどうか。

町長

検証していく。

早急にルール設定

議員

災害弱者への取り組みとして、避難誘導などに必要な3月作成された要支援者名簿の提供はどうなっているか。

総務課長

安否確認に使うのが目的であり、運用のルール作りがまだできていない。



大雨でがけ崩れ 南田川内・本川内線

問 市町村移管
マンパワーの確保を

答 団塊世代の
元気な高齢者に期待

議員

介護の担い手不足を見越して国は介護保険サービスについて掃除など簡単な生活支援をボランティアやNPOに担ってもらおうように市町村に求めている。このマンパワーの確保はどのように考えているか。

介護保険課長

今活躍されているボランティア、民生委員団塊世代の元気な高齢者、自治会などと連携していく。

高齢者に優しい町

議員

該当する高齢者や家族へ、移行に関する周知はどうなっているか。

課長

サービスの内容、単価、給付の方法が決まってから周知する。



にしおか かつゆき 議員
西岡 克之 議員

全国統一学力テストの結果 分析は

回答 子供たちは良く頑張っている

議員

全国統一学力テストが本年4月21日に実施されたが、本町子供たちの成績について結果と分析はどうか。

教育長

今年は3年ごとに実施する理科が加わり、結果については8月末に届いた。

本町の平均正答率は全科目で全国平均を大きく上回っていた。全国平均正答率と本町の差はグラフで表示する。

議員

同時期に県独自で、学力テストが実施されたが結果はどうか。

教育長

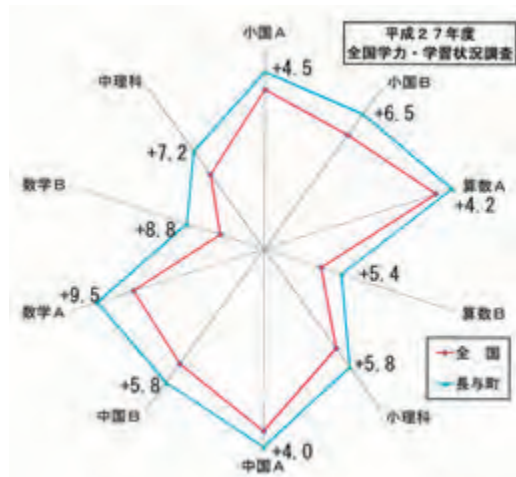
本町は県下でトップの成績だ。

議員

今後の課題と目標はどうか。

教育長

知・徳・体バランスの取れた「かしこい頭を、やさしい心を、たくましい体を、地域で育てていく」決意だ。



全国平均を大きく上回る長与町

問

18歳選挙権の準備はどうか

答

様々な活動を通して教育する

議員

来年の参議院選挙から18歳選挙権が取り入れられる。小学生の学校現場で政治教育はどう取り組むのか。

教育長

政治学習は、小6の社会科で「我が国の政治の働き」中3の公民で「私たちと政治」で指導しているほか、小中学校

議員

で特別活動の中でさまざまな政治教育の基礎を学習している。昨年度、長与北小学校で行った政治実践活動は関係機関の協力を受け、大成功をおさめた。これを受け他校での実践にも活かしていきたい。

議員

北小の取り組みを受けて、今度は子ども議会の開催を提案するがどうか。

教育長

前向きに考える。

問

子育て医療の無料化を図れ

答

実施に向けて努力する

議員

長崎市では、小学生まで、医療費の助成を拡充する準備予算を6月議会で議決している。本町はこれを踏まえてどう考えるか。

町長

本町でも子育て支援は最重要政策の一つだ。

議員

人口5万を目指す本町にとって長崎市がこのような政策を

とれば若い世代が本町に入りにくくなると感じるがどうか。

町長

この政策を実施すると財政面や人員増加も伴う、研究検討しながら前向きに取り組むみたい。

ポイント制導入は

議員

ヘルスケアポイントについて、健康づくりへのインセンティブ（動機づけ）に厚労省も検討会を立ち上げるようだが本町は取り組まないのか。

町長

厚労省では、今年度中にガイドラインを策定し、前向きに努力する。

※ヘルスケアポイント

健康づくりの努力に応じて与えられるポイントで、金券などと交換が可能。実証実験も始まり普及へ期待が集まる。



あべ みやこ 都 議員

地域支え合いICTの今後は

回答 アンケート実施結果後判断する

議員

県のモデル補助事業として、もうすぐ3年が経過する。来年度より事業の継続はどうするのか。

町長

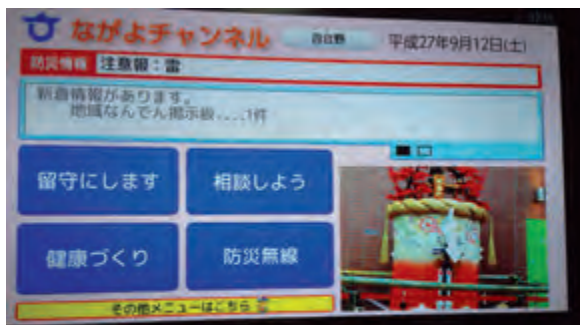
来年度以降の事業継続の可能性については、初期の目的を達成できたかどうか、また、費用対効果の観点から投資に見合う成果があったか見極める必要がある。対象世帯へのアンケート調査を9月に実施しその結果を見て判断する。

議員

高齢者全世帯に設置した場合の予算見込みはどうか。

町長

75歳以上の単独世帯1300世帯の半数650世帯に機器を設置し、ICT普及員3名を配置した仮定で試算すると、1世帯・年額のランニングコストは、普及員人件費が、150000円、回線使用料310000円の合計460000円となる。回線使用料を利用者負担、人件費を行政負担した場合、年額975万円の予算と初期投資および5年ごと



ICT高齢者見守り事業の行方は？

の機器更新時に、800万円の程度が必要となる。

議員

現在、使用している住民のICT機器のニーズと有効性についてはどうか。

町長

事業着手当初から、機器やソフトウェアの不具合が発生し、長崎県、通信事業者とその解消に努めた。現段階においても解消には至っておらず、「安定稼動」とは言い難い。

問 視覚障害者等へピックス設置を

答 是非設置に向け要望したい

議員

高齢者・視覚障害者のバリアフリー対策PICS（ピックス）設置についてどうか。

町長

県内には現在、10カ所設置。時津警察署管内には、西彼杵郵便局前交差点に整備されている。本町には、設置はない。今後設置に向け要望していきたい。

議員

障害者福祉医療費助成制度の現物給付の進行状況はどうか。

町長

長崎県福祉医療制度検討協議会で県内統一し協議している。県内市町の合意に至っていない状況。今後も現物給付に向け要望していく。

議員

障害福祉サービスの一つに福祉タクシー助成制度があるが、ガソリンチケットへの選

択性についてはどうか。

町長

社会活動の範囲を広げることが目的に、町の単独事業で実施。27年より、交付枚数を12枚から24枚へ改正した。ガソリンチケットへの選択性は、考えていない。



視覚障がい者のためのPICS（ピックス）ついたらいいなあ～

※PICS（ピックス）

歩行者等支援情報システム。視覚障害者の利用の多い信号交差点を中心に整備され、視覚障害者などの安全を確保するため、信号機上部に設置したセンサーから白杖の反射シートを検知して、歩行者用信号の色の状態や交差点名称の情報を案内するもの。



やまぐち けんいちろう
山口 憲一郎 議員

公共施設の老朽化への対策は

回答 公共施設の適正配置に取り組む

議員

町の公共施設については、住民福祉の推進に貢献してきたが老朽化が進んでいる施設が多くなっている。

老朽化施設の対策についてどのように考えているか。

町長

多くの施設が老朽化してきており、今後、施設の更新や維持管理は大きな課題である。そのような中で、今後の人口の動向、住民のニーズを見ながら老朽化施設の廃止や統合も含めた適正配置に努める。さらに、長寿命化を図り未利用施設・未利用地の有効活用を考えていく。

議員

中尾城公園の施設老朽化対策はどのようなになっているか。

町長

公園開設から20年が経過しており、経年による劣化はみられるが、定期的な保守点検を行っているっており、今後も施設の機能維持、安全性の維持に努めていく。

議員

公園のモノレールの故障が多



どうする 老朽化対策

いと聞かどうなっているか。

都市整備課長

設置から20年経過し故障も多くなってきた。整備費用も含めて対応を検討していく。

議員

各公民館の老朽化対策はどのようなになっているか。

町長

公民館の老朽化は大きな課題である。厳しい財政状況の中で耐震化による安全性の確保、高齢者や障害者など利用者の利便性の向上、施設の長寿命化など、計画的な整備を検討していく。

問

農業政策の充実への取り組みは

答

所得の向上施策への取り組み強化

議員

町の農業従事者の高齢化率は62%と高い比率となっており、新規就農者も難しいのが現状であり、担い手確保は喫緊の課題である。対応として、担い手への規模拡大など、集中的な支援の強化や、農地の基盤強化のため「小規模基盤整備」などを実施する。また、農業後継者や認定農業者など、先導的農業者の育成にも支援を行っていく。

議員

農業所得向上にどう取り組んでいるか。

町長

消費者ニーズに即した高品質化や、農産物直売所への支援の継続、オリーブの作付けの拡大など、積極的に取り組んでいく。

議員

オリーブの加工施設が検討されているが、併設してミカン

のジュース加工施設はできないか。

町長

生産から加工・販売までの第6次産業化を検討していきたい。

議員

農業の安全についてどのように考えているか。また電気柵の事故防止への対応はどうなっているか。

町長

長与町農作業労働災害対策協議会と連携して災害防止に努めている。電気柵については設置場の調査を実施したが、違反などの問題はなかった。

危険性を把握し道路の安全対策を



つとみ さとし 議員

回答 状況を調査し判断したい

議員

長与ニュータウン入口交差点は、長与駅方面からの右折待ちの際、見通しが悪く危険である。カーブミラーを設置できないか。

町長

設置に適した場所の有無や、警察などの意見も参考にしながら対応したい。

議員

この交差点の危険性を認識しているか。

企画振興部理事

視界が悪く危険と考える。

議員

警察への要望は、具体的にどのような内容か。

理事

時差式信号機を要望している。

議員

安全対策を強く促すべきではないか。

理事

カーブミラーの設置も町の判断と回答を得ている。また、信号機設置は、県道拡幅完了後に検討に入るとの回答である。

危険な老木 把握を

議員

本年7月、長与ニュータウンの「さくら階段」にある桜の大枝が倒れた。26年6月議会でも、街路樹の枝枯れ把握の必要性について質問したが、町内全体の老木などの管理体制を再確認する必要があるのではないか。

町長

すべて管理することは難しい。地域住民の協力を得ながら対応したい。

議員

前回の質問時、打音点検が1677本、うち62本が支障ありと判定、早急な対策が必要なものではなかったとの答弁であったが、今回の桜は該当するののか。



急げ 道路の安全対策を

管理課長

枝が折れた桜は街路樹ではないため、数に入っていない。

議員

街路だけでなく、歩道脇の樹木も点検する必要があるのではないか。

教育委員会理事

住民と連携し安全確保に努めたい。

議員

住民は安全判断の術がない。専門的検査の範囲を広げるべきではないか。

管理課長

危険箇所として挙がってきた樹木も調査し判断したい。

問 拡充せよ
こども医療費

答 拡充にむけ努力する

議員

本町で若い世代が暮らしてもらうためにも、子育て支援を充実させる必要がある。長崎市は、来年度からこども医療費の対象年齢を拡充する。本町も拡充に踏み出すべきではないか。

町長

年齢拡充は財政と事務量の増加につながるが、対象年齢の拡充ができるよう努力していきたい。

議員

県内で拡充する意向の自治体はどの程度あるか。

福祉課長

来年度に拡充しようとしている自治体は9市2町ある。

議員

本町も長崎市と同時期に拡充を開始できないのか。

町長

財政の問題などあるが、やれる方向で研究していきたい。



なかむら みほ 中村 美穂 議員

どうする 高齢者の買い物対策

回答 バス路線の見直しで努力する

議員

町内には商店街、大型スーパーなど日常の買い物をする店舗はたくさんあり、恵まれていると思われるが、車を使用しない高齢者の買い物は、非常に困難を極めているのが現状である。高齢化にともない、幸福度日本一のまちづくりを目指しているが、どのように考えているのか。

町長

店舗までの移動が容易にできる公共交通の充実を検討している。

議員

以前、移動販売車が回っていたようだが、現在町内に回っているものはあるか。

企画振興部理事

以前は回っていたが、採算が取れず、現在は実施されていない。

議員

高齢者への買い物物支援サービスはあるのか。

介護保険課長

要介護、要支援の人へのサービスとしては、実施している。介護保険対象外の部分では、



買い物しやすい環境を

長与町社会福祉協議会で対応している。

議員

長与・時津シルバー人材センターでも始めたようだがどうか。

企画振興部理事

一時間759円、交通費200円で家事支援サービスを始めています。

議員

町内を回るバスが少ないために、町外で買い物を済ませる人も多い。経済の活性化、住みたい住み続けたいまちづくりのためにも、どのように考えているのか。

町長

榎の鼻区画整理事業でバス路

線のルート、ダイヤをより利便性の高いものとなるよう努力する。

問 粗大ゴミの希望者への有料回収を

答 環境施設組合と検討していく

議員

粗大ゴミは自治会単位で年二回、無料で収集しているのは、住民サービスとして良いことであるが、自宅から回収場所まで運べない住民も多数いる。希望者には有料で回収することはできないのか。

町長

長与・時津環境施設組合を含めて、構成町会議で検討していく。



重くて運べません

問 災害時優先電話の設置を

答 避難所に要望していく

議員

自治会の防災センターや公民館など、住民が身近に利用する施設に、万が一の時の安心のため、災害時優先電話の設置は要望できないのか。

町長

指定の避難所ではない地区公民館などへは設置されていないため、難しい。

議員

実際の避難所になる学校や、公立公民館は設置の対象になると思うが、設置の要望はできないのか。

総務課長

現在のところ町内には設置されていないため、学校など大きな避難所に当たるところに関しては、将来的に要望を重ねていきたい。



かわの 河野 たつじ 龍二 議員

国支援金で 国保税引き下げを

回答 現時点で提示できない

議員

今年5月に成立した医療保険制度改革関連法では、国保の被保険者に救済策として、支援金が交付される。支援金の内容は何か。

町長

27年度支援金額は1700億円、30年度まで支援が行われる予定である。

議員

支援金の目的は、低所得者対策とある。支援金を活用し、国保税の引き下げの考えはないか。

町長

医療費などの確保も必要なので、現時点では提示できない。

問

老朽化した町道の改善を急げ

答

補助など活用し対応していきたい

議員

老朽化した町道が多く、住民からも改修の要望を聞く。改修が必要な路線はどれくらいあるのか。

町長

679路線、約144キロメ

ートルある。

議員

改修費用はどれくらい予想か。

町長

約70億円と考

議員

改修計画はどう考えているのか。

管理課長

補助対象道路については、補助金を活用し計画を立てて改修する。補助対象にならない生活道路については、要望に対し、緊急性のあるものから対応していく。

議員

道路の改修は、第8次総合計画にも要望が高いと明記してある。要望に応えるためにも、改善を急ぐべきではないか。

町長

早急に取り組んでいきたい。



転びそうな道路

問

急げ乗り合いタクシートの導入

答

努力していきたい

議員

コミュニティバスなどは、住民の切実な要望である。小さな集落に対応できる、乗り合いタクシーの導入の考えはないか。

町長

住民の要望があることは、十分理解している。対応していきたい。

議員

24年度にコミュニティバスの、アンケート調査を行う26年度からは実証実験を行う

と説明してきたが、実行されていないがなぜか。

企画課長

その後、新たな団地の造成や商業施設建設などでバス路線の変更もあり、バス路線が確定して以後、コミュニティバスなどの導入を考えているので現在に至っている。

議員

導入時期はいつか。

課長

来年度には、バス会社などの関係機関と協議会を持ちたい。

議員

乗り合いタクシーはバス路線が決定しなくても進められないのか。

課長

導入に当たっての手続きは同じだが、バス路線確定なしの協議会が持てるかは調査しないとわからない。

議員

住民の切実な要望なのに、時間が掛かりすぎている。早急の対策を図れ。

町長

早急に導入できるよう努力したい。

全会一致
可決

未来のまちづくり ふるさとづくりを議論

長与町ふるさと創生まちづくり
調査特別委員会を設置

人口減少・超高齢化という日本が直面する大きな課題に対し、地方においても「まち・ひと・しごと創生」に取り組んでいます。本町においても特徴を生かした自律的で持続可能な町を創生するため、議会の立場から推進するための調査・研究を行う「長与町ふるさと創生まちづくり調査特別委員会」を設置しました。

委員会構成

議長を除く15人全員

目的

- 1、まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること
- 2、第9次総合計画に関すること
- 3、公共施設等総合管理計画に関すること
- 4、その他ふるさと創生および町づくりに関すること

■委員長・副委員長は、互選により次の通り決
定いたしました。

委員長 岩永 政則
副委員長 西岡 克之

27年第3回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	浦川圭一	中村美穂	安部 都	饗庭敦子	安藤克彦	金子 恵	分部和弘	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	山口憲一郎	堤 理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中 悟	内村博法	
執行機関	長与町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成26年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	▼	▼	○	○	※
	平成26年度長与町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成26年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	▼	▼	○	○	※
	平成26年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	▼	▼	○	○	※
	平成26年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	▼	▼	○	○	※
	平成26年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	※
平成26年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	※	
議会	長与町教育委員会委員の任命の同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町ふるさと創生まちづくり調査特別委員会設置についての決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	※
少人数学級推進のための教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	※	

〔○〕賛成 ▼反対 ■棄権 -欠席 *議長は採決に加わらないため「※」で表示

全会一致
可決

議員欠席に「出産」明記

長与町議会会議規則が改正されました。

議員が「事故」などで出席できないときは、理由を付けて議長に届け出ると定められています。この取り扱いに関し、社会情勢などを勘案し、出産の場合の欠席の届け出について、新たに規定されました。

人事案件

任期満了に伴い、提案があった教育委員の任命案について審議を行い、全会一致で同意しました。委員のご活躍を期待します。

原田 成信 さん
はらだ しげのぶ

全会一致
採択

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について

【請願の要旨】

義務教育費の国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた結果、自治体財政を圧迫し非正規職員も増えている。子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのため条件整備は不可欠である。

●教育予算の増額を実現すること

●義務教育費国庫負担制度の堅持と国負担割合の2分の1の復元

*請願採択を受け、本会議にて同趣旨の意見書を可決しました。意見書は、政府・国会など関係機関へ送付します。



伝わる広報広聴のための取り組みなど調査

委員長 金子 恵

○調査期日

7月28日から30日

○調査場所

・東京都東村山市・神奈川県鎌倉市
・埼玉県寄居町

○調査目的

議会報告会
オープンミーティング
議会広報紙の編集

○研修内容

東村山市

議会報告会を毎定例会後、開催している。また、周知方法は、超党派で駅前でのチラシ配布に取り組んでいる。参加者が固定化してきていることが問題であるが、「意見交換会」を重視し「聞く」ことを考えた開催方法を常に考えている。

鎌倉市

執行部が行っていた「オープンミーティング」は意見が出やすいという観点から、この手法で開催した。また、テーブルホストを大学生にすることで、お互いの意見の衝突を回避した。これにより、多くの意見を聴取できたことは、成果と言える。

○寄居町

議会だよりの記事づくり、写真撮影まで全委員参加で行うと同時に、委託業者に参加してもらうことにより、その時点での修正を可能にしている。また、住民参加のインタビュ記事に掲載するなど、「手に取ってもらえる」紙面づくりに重点を置いている。

○研修を終えて

議会における広報広聴機能は、いかに住民に参加してもらえるか、議会にどれだけ関心を持ってもらえるのかを念頭に行うべきであることを痛感した。先進地との違いは、全員が参加し取り組んでおり、今後、義務的態度ではなく、積極的
に住民と向き合うこと
のできる議
会として改
革推進に努
めていきたく
い。



情報公開・議会ICT化・自由討議など調査

委員長 饗庭敦子

○調査期日

8月3日から5日

○調査場所

・滋賀県大津市・兵庫県宝塚市
・兵庫県三田市

○調査目的

・議会改革および議会運営

○研修内容

大津市

26年に150インチの大型スクリーンを設置、電子採決で議員の個別賛否を表示、一般質問の議場内補足資料を投影、インターネット配信、タブレット端末導入開始を実施し、ペーパーレス化による経費節減と議会運営の効率化に寄与している。

「大学との連携による議会からの政策提案」「地方議会初となる議会BCP（業務継続計画）」など大変積極的な議会改革を実施されている。

宝塚市

23年9月から各常任委員会自由討議を導入している。導入後、委員会審査の議論が深まり、傍聴者に議論の様子が分かりやすくなった。しかし、委員会の審査時間が大幅に増大した。

○三田市

議案書をPDF化して市長提案と同時にホームページに掲載している。情報公開に積極的に取り組んでいる。また市政相談会を27年6月から、毎月1日（休日の時は次の月曜日）に開催している。

○研修を終えて

タブレット端末を使用した一般質問および質疑では、補足資料などの大型スクリーン投影により、傍聴者やインターネット視聴者には分かりやすい議論が展開できる。「町民とともに歩む議会」を目指すことに繋がる。費用対効果を考え、得られる情報が飛躍的に増えるという点から、情報の共有化を重視して取り組みたい。自由討議は議会基本条例でも定めており、議決責任を明確にするためにも、議論をすることは重要であり、実施していきたいと思う。



安心安全のまちづくりを進めるために 議会として取り組んでいます

27年6月24日、災害対応訓練の一環として、

○ 本町の「土砂災害マップ」の説明

○ 水難事故などにおける救助法

○ 熱中症対策

など、長崎市消防局北消防署浜田出張所の署員にアドバ
イス、救助方法、対処方法を学びました。

議会では「長与町議会災害対応要領」を定めています。
そうしたことから、私たち議員も自助、共助に役立てる
よう実施しました。これからもこうした機会を積極的に
設け、一人ひとりが防災への意識を高めていけるよう、さ
らなる資質の向上を目指します。



傍聴席から

公園の管理を

街路樹の話でニュータウン西の各公園に
ある桜の樹木の老木が倒れかかっている。
議会の質問題目以前に町による点検が必
要では。

各公園、雑草が生い茂ってますが、これ
もなんとかならないでしょうか。

町民の生活に密着した議会内容だったと
思います。ただ、行政が「検討します」と言っ
たその結果をハッキリと答弁して欲しい。

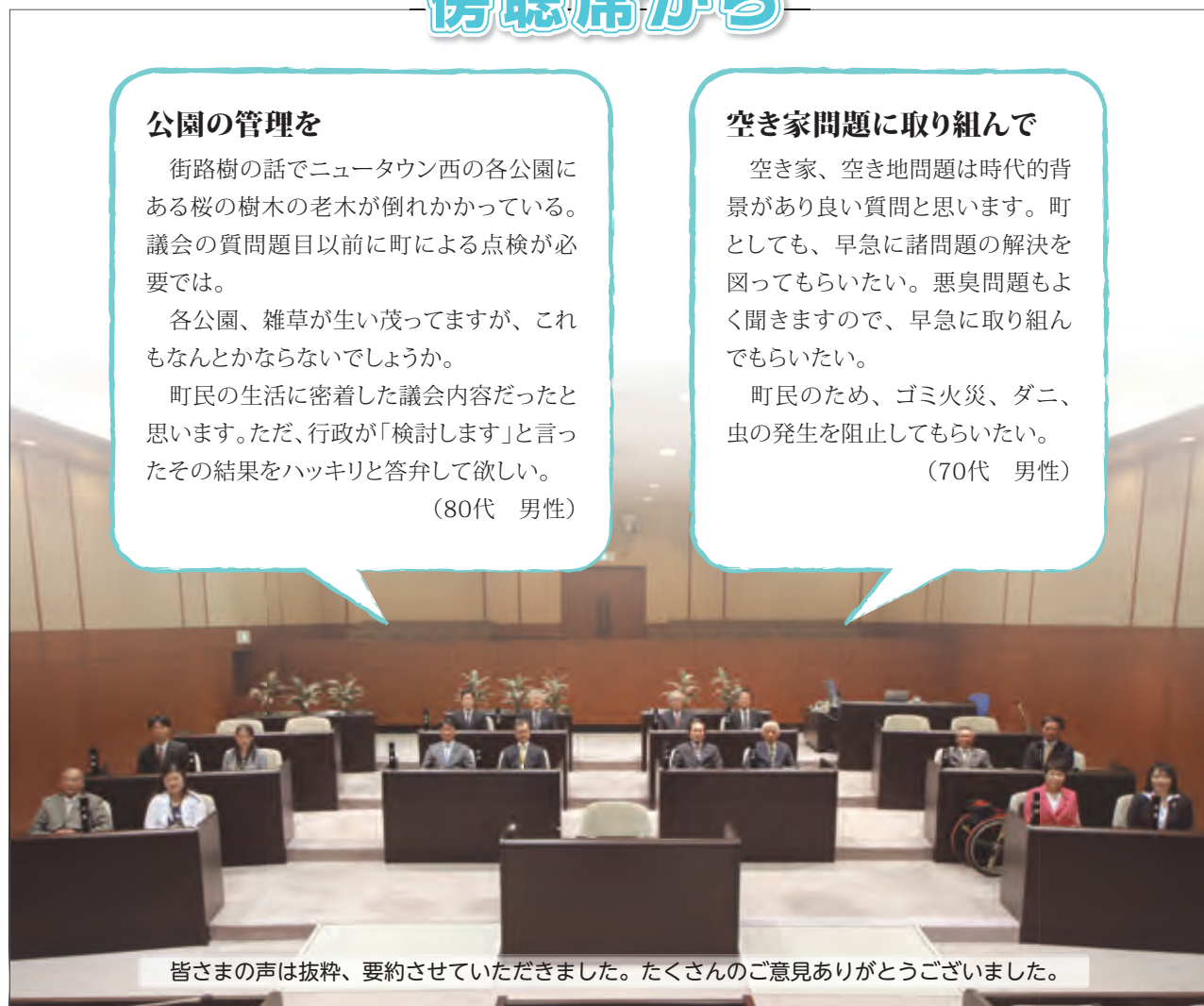
(80代 男性)

空き家問題に取り組んで

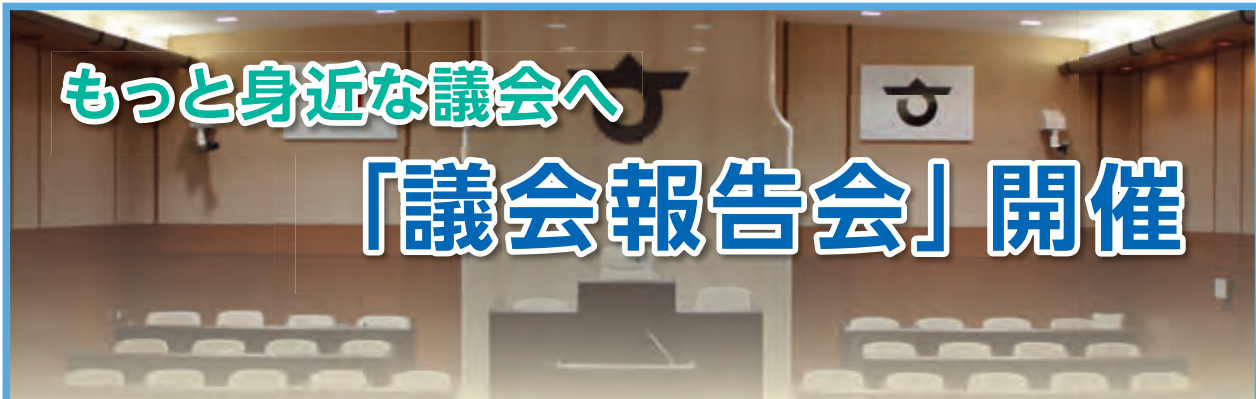
空き家、空き地問題は時代的背景
があり良い質問と思います。町
としても、早急に諸問題の解決を
図ってほしい。悪臭問題もよ
く聞きますので、早急に取り組ん
でもらいたい。

町民のため、ゴミ火災、ダニ、
虫の発生を阻止してほしい。

(70代 男性)



皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。



もっと身近な議会へ 「議会報告会」開催

次の定例会は

12月1日(火)

の予定です

傍聴をお待ちしています

議会では、議会基本条例を制定し、町民に開かれた議会を目指して活動を行っています。町民の皆さまに、直接、議会の活動をお知らせし、同時に議会運営にかかる意見交換などを目的として、議会報告会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催日	会場	備考
10月29日(木) 19:30 ~ 21:00	長与町水道局 (役場横)	手話通訳あり 託児あり【要予約】※H27.10.21(水)まで

【開催内容】

- ①議会活動報告
(9月議会及び27年度事業の主な議決事項、主な公共事業等、議会改革の取組状況)
- ②議会に対する意見交換会 (ご意見等は今後の議会活動に役立てます。)

◆問合せ・託児申込 議会事務局 TEL801-5700

9月議会の傍聴者は
延べ **73人** でした

議長交際費 27年7月1日から9月30日までの 総額と件数

寸志・慶祝など	50,000円 (9件)
弔慰 (生花スタンド・香典など)	10,000円 (1件)
視察研修土産代	0円 (0件)
支出合計	60,000円 (10件)

議会情報を発信中！ コメントをお待ちしております。

長与町議会 facebook いいね！ をよろしくお祈いします

現在 **382名** (9月下旬)

<http://www.facebook.com/nagayochogikai>

QRコード

編集後記

『天高く馬肥ゆる秋』読書に、スポーツと絶好の季節、食欲旺盛で心もさわやか。まさに幸せを実感できる今日このごろであります。

9月の議会も終わり、その集大成としての議会だよりをお届けいたします。

【さがしたって、近道なんてないよ、ゆっくり、一歩ずつ、確実に、着実に】

この言葉は、よく耳にすることばです。

編集にあたっては、素人集団ながらも、一歩ずつ・確実に・着実に・読みやすい・議会だよりに全委員協力の下、努力いたします。

(岩永 政則)

議会広報広聴常任委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 金子 恵 |
| 副委員長 | 安部 圭 |
| 委員 | 浦川 美穂 |
| | 中村 和弘 |
| | 分部 則彦 |
| | 岩永 清 |
| | 吉岡 悟 |
| | 竹中 |

